



校長室だより

特別号



平成29年10月

津市立榊原小学校

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日(火)に小学6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われました。本年度は、国語・算数の調査がありました。国語・算数とも、A問題は基礎的な「知識」を問う内容であり、B問題は学んだ知識を「活用」する力を問われています。榊原小学校の結果をお知らせします。

保護者の皆さまには、お子様の得意なことを認めながら、今後の学習・生活の励みとなるような声かけをお願いします。

【平均正答率】

	国語A	国語B	算数A	算数B
榊原小学校	全国を上回る	全国を上回る	全国をやや下回る	全国とほぼ同じ
三重県	74.0	57.0	77.0	45.0
全国	74.8	57.5	78.5	45.9

(国語)

国語の勉強は大切で、授業がよく分かったと回答した児童の割合が高く、「話す・聞く」項目で特に力がついている。本校の学習の積み上げが着実に子どもの学力向上につながっている。しかし、調査結果から「言語活動」「書くこと」にももう少し力を入れていく必要があると思われるので、短時間で考えをまとめること、漢字の習得について日常的に継続して取り組んでいきたい。



(算数)

算数の勉強は大切だと回答した児童の割合は高かった。整数の四則計算はほとんどの児童が身についているが、それを使うとなるとミスをしたり戸惑い、必要以上に苦手意識を持っている児童がいる。B問題の図形領域で課題があった。日頃から理由を述べながら、自分の意見を伝えあう活動を取り入れることで力をつけられるとおもうので、日常的に継続してとりくみたい。



「技能」に課題がある児童には計算の繰り返し学習が必要である。「数学的な考え方」が苦手な児童には、文章や資料を読む力、見通しをもち筋道を立てて考える力が定着するように授業の工夫をするなど個々に応じた指導が必要である。



【児童質問紙からみられる生活・学習状況】

★【本校の強み】 ○全体的に規則正しい生活リズムがついている。

○家庭学習時間は三重県、全国平均をより上回っている。(自主学習ノートの活用等充実が図られている)

○人が困っているときに、友だちを助けてあげたいと思っている児童が多い。

○いじめはどんな理由があってもいけないと思っている児童が多い。

○地域の行事によく参加し、地域の人々と交流を深めている。

☆【本校の弱み】 ○将来の夢や目標を持っていない児童の割合がやや高い。(キャリア教育を進める)

○テレビやビデオ・DVDを見ている時間が長い。(月3回のノーメディアチャレンジデーの取り組みなどにより、家庭生活を見直す)

◎学校では、授業のはじめに「めあて・ねらい」をはっきりと示し、終わりには授業の内容が身についたか確認のため「振り返り」をする学習活動を進め、学習内容の定着を図っています。

